

医療法人財団 織本病院 広報誌

## 月刊 織本

2

2019年2月1日 vol.294

発行 医療法人財団 織本病院  
 印刷 〒204-0002  
 東京都清瀬市旭が丘 1-261  
 TEL 042-491-2121  
 URL <http://www.orimoto.or.jp/>  
 発行人 高木 由利



蠟梅

## 2019年新春特別公演会 ステキなフルートとトークの マチネコンサート

理事長 高木 由利



肌を刺すような冷たい風が吹きますが、ふと辺りを見回すと小さくて真っ白な日本水仙が風に揺れながら凛と立っていたり、淡い黄色の蠟梅が愛らしく咲いたり… しかもお互いにステキな香りを放っているのです。精一杯生きている姿に感動してしまいます。

\* \* \*

1月10日(木)に国立音楽大学の教授、大友太郎先生のフルートコンサートが4階オリモトホールで開かれました。先生のフルートやお話、お姿がとてもステキで私は大ファンなのです。昼下がりに病院でフルートコンサートを楽しめるなんて贅沢なことですが、たくさんの患者さんやお客様達が喜んで下さったのでとても嬉しく思いました。過去2回、2階の療養病棟ロビーでもコンサートをして頂き、先生のフルートは先生の歌声だと表現させて頂きましたが、今回も先生はたくさんの歌声を私達にプレゼントして下さいました。

中学生の頃に学校の楽器クラブに入り、フルートが吹きたかったのにトランペットになってしまったこと、音楽高校の受験、そしてドイツ留学のお話。そのお話しは何か先生がフルートを抱きかかえて音符と一緒に地球の上を飛んでいっちゃうような印象

でした。いつも思うことは、先生はフルートを吹いているのではなく、フルートが先生の代わりに歌い続け、そして先生はその音色の中で楽しく踊っていらっしゃるような気がしてくるのです。本当に本当にステキで不思議なコンサートでした。そして今回もまた、今年のクリスマスコンサートで合唱団が歌う曲を一曲頂きました。すごく感動しました。

“またいらして頂いて、私達にステキな時間をくださいね！”そんなお話しをお客様から頂きました。

さて、次回はいつ当院にフルートと一緒に飛んできて頂けるのでしょうか…



# 人間ドック

## 受診ただけで満足していませんか？

### 二次受診の重要性について考える



## 人間ドック 座談会



健診担当  
村上 綾花

健診担当  
主任 梁取 暁洋

### 二次受診の重要性を伝えるために大切なこと

**村上** 本日は、要精査・要治療判定があった場合の二次受診の重要性について先生方の意見を頂きたいと思えます。まず、二次受診の重要性をどのようにお伝えしていくべきだと思いますか。

**高木** 人間ドックを受けて安心してしまう方が多いのではと感じています。その中で、「どのように伝えていくべきか」を日々考えています。特に、医師との面談（結果説明）がないドックの方へ、面談がある方と同じように二次受診の重要性を伝える事がとても難しいと感じ悩んでいます。



心臓血管外科  
院長 藤木 達雄

**藤木** そのまま放置して悪化してしまった場合、どんなリスクがあるのか伝えていく事が大切だと思います。悪化して治療が必要になった場合、医療費がどの位かかるのかを知ることも大切ですよね。

結果票は、大切な所の文字を大きくして色を付けたり、健診者の方に馴染みのある言葉を使って伝えていけると良いですね。

症状がない病気や、ご自分で食事療法・運動療法等を行わなければならない病状に対して受診する行動を起こすことは大変なので、医師からのコメントを結果に加えるなど、興味をもってもらふ工夫が大切だと考えます。

日頃から、私達健診担当がとても危機感を感じていることがあります。それは、人間ドックを受診された結果、要精査・要治療判定であったにもかかわらず二次受診をされていない方が非常に多くいらっしゃる事です。せっかくお金も時間もかけ、一部の苦痛を伴う検査にも耐えて受けた人間ドックも、結果に目を向けなければ意味がありません。

そこで、当院で人間ドックの問診・面談を担当している主たる医師に要精査・要治療判定があった健診者の方々の二次受診の重要性について話を聞きました。



**齋藤** 糖尿病や高血圧症については二次受診されている方が多いのですが、脂質異常症など症状が出ない病気に対しては、そのままになってしまうようです。今は症状がない病気でも、その後のリスクをお伝えし、二次受診が必要だということを伝え続ける事が、私も大切だと思います。

### 症状が出る前に行動を！

**村上** 次に、二次受診をしていない理由として「症状が出ないからつい後回しになってしまう」、「仕事が忙しくてなかなか受診できない」などのお声を聞きますが、医師の立場から健診者の方々へお伝えしたいことはありますか？

**高木** 医師から言葉をもらい、今の生活でいいのかどうか、生きる指標を見つけてほしいのです。病気を発見し、これからの人生をどうするのか考える場にしてもらいたい。この先何が起こるのかを一緒に考えていきましょう。

**藤木** 先程も言いましたが、早急に治療が必要な病状であったり、薬で治療できるものなどは二次受診される方がほとんどですが、生活習慣に関わる項目の異常値で、更には現在症状のない方はやはりなかなか診察を受けて



腎臓内科  
理事長 高木 由利



いないようですね。治療が必要なところまで悪化する前に食事療法や運動療法を行いご自身でコントロールすることがとても重要です。当院では栄養指導や運動療法の指導も行っているのは是非活用してほしいと思います。

悪化してしまうと辛い症状が出るだけでなく、さらに他の病気を発症したり、障害が残ったりする場合があります。



呼吸器内科 齋藤 圭子

また、ご家族の負担も増えます。放置してしまっただけでは健診を受ける意味がなくなってしまいますので、とにかく手遅れになる前に受診しましょう。後戻りはできません。

**齋藤** 私も同じですね。とにかく悪化する前に二次受診をしましょう。診察や検

査の予約をその場で取ることもできますので、面談の時に相談してください。人間ドックでは遠方からいらっしゃる方も多いのですが、通いやすいところで大丈夫です。紹介状を書くなどして二次受診へ繋がるよう心がけています。

### 人間ドックを受けるだけでは治りません!!

**村上** 最後に、高木理事長からお願いします。

**高木** 人間ドックは一つの道しるべです。治すべきか、このままでいいのか、方向性を見つける場所にして下さい。人間ドックを受けるだけでは治りません。受ける意義を考えてみませんか？

**村上** ありがとうございます。今回先生方の意見や思いを伺い、二次受診の重要性を改めて感じました。

これを機に、二次受診の相談が安心してできるような人間ドックを目指します。



## 人間ドックのご案内

病気の治療は早期発見・早期治療がカギです！  
当院では、皆様に充実した検査項目とサービスで、

人間ドックを快適に受診して頂けるよう努めております。ご自身・ご家族の健康管理に是非お役立てください。質問・相談なども私達専任スタッフが随時承りますので、お気軽にお問合せください。

人間ドックのお申込み・お問合せはこちら ☎ 042-493-2361

検査項目	内容：対象病変	コース			
		ショート	1日	1泊2日	脳ドック
		¥25,920	¥44,280	¥72,360	¥41,040
身体測定	問診(医師) 身長 体重 腹囲 血圧	●	●	●	●
基礎代謝測定	体脂肪率 基礎代謝量 筋肉量 など	●	●	●	●
視力・聴力	視力測定 聴力異常の有無	●	●	●	
尿検査	蛋白 糖 潜血 卅ビリゲン pH ビリルビン 比重	●	●	●	
便検査	便潜血の有無(2回法)	●	●		
血液検査	白血球 赤血球 血小板 血色素量 ヘマトクリット 肝機能 糖 脂質 電解質 尿酸 腎機能 ※(膵 炎症反応 感染症) ※脳ドックは除く	●		●	●
心電図	不整脈 心臓の機能、病変の有無	●	●	●	●
胸部X線	肺の病変の有無、心臓の大きさ	●	●	●	
腹部X線	腹水、腸内の病変の有無	●	●	●	
胃透視	バリウム(造影剤)を使用した消化器検査	●	●		
腹部超音波	各臓器(肝臓・胆嚢・膵臓・脾臓・腎臓)の疾患	●	●	●	
頸動脈超音波	首の血管の動脈硬化、狭窄症など頸動脈の疾患		●	●	
心臓超音波	心臓内の血液逆流、心弁膜症など心臓の疾患		●	●	
PWV(脈波)	動脈硬化の程度				●
骨密度	骨粗鬆症の診断(骨塩定量検査)		●	●	
肺機能	肺活量、換気量などを計測 肺疾患の有無	●	●	●	
MRI(脳)	脳内の腫瘍、梗塞、動脈瘤、頸動脈の病変の有無			●	●
MRA(脳/頸動脈)				●	●
上部内視鏡	食道・胃・十二指腸 ※ショート、1日コースの胃透視を上部内視鏡に変更可(追加料金¥5,400)			●	
下部内視鏡	大腸			●	
お食事	※ショートコースのみオプション制(追加料金¥1,080)		●	●	
医師総合面談	※ショートコースのみオプション制(追加料金¥2,160)		●	●	●

※オプション検査も多数ご用意しております。詳しくは当院ホームページをご覧ください

織本病院



## 第2回 織本病院見学会



地域医療連携室  
濱田 国男

地域の患者様を安心してご紹介頂きたい。そのために織本病院の「今」をもっと知って頂きたい。そんな思いで昨年10月、まずはケアマネージャーの方々を対象に「第1回織本病院見学会」を行いました。とても良い反響があり、今まで以上の医療介護連携が期待できる結果となりました。

そして1月10日(木)、第2回目の見学会を開催致しました。今回は地域で主に訪問診療を行っているクリニック様を対象として行いました。超高齢化社会を前に、厚生労働省は「時々

入院、ほぼ在宅」の方針を打ち出しています。近年、訪問診療はとて充実しており、患者様が自宅で安心して療養できるようになったと思います。しかし、様々な理由から入院が必要とされる患者様も、まだまだ少なくありません。従って、訪問診療の主治医の先生に安心して患者様をご紹介頂けるよう、織本病院をもっと知って頂く必要があると考えています。

当日私は、院内見学の案内役を担当しました。見学会に参加して下さった皆様から、「院内随所にホスピタルアートを取り入れ、癒しと温もりを感じることのできる療養環境ですね。」「こんなに本格的な舞台設備の整ったホールでコンサートなどのイベントが行われているんですね!」「お食事もお患者様から“おいしい”と評判ですね。」などのご意見を頂きました。また先日、地域の訪問看護師の方から入院相談で、「紹介したい患者様の色々な背景を考えると、医療面だけでなく多角的に関わってくれる織本病院が合っていると思って」とご相談頂きました。これらのことから、織本病院には患者様にとって「ほっとする環境」が整っているのかもしれない、そんな風に思いました。

このような機会を通して、織本病院の役割が見えてきたように思います。患者様に満足して頂ける医療を実践することを理念とし、全人的なケアを提供できる、地域にとって“頼りになる病院”を目指してこれからも頑張りたいと思います。ご参加下さった皆様、ご多忙の中ありがとうございました。



## 第208回 腎疾患・糖尿病ゼミナール

### 腎不全の理解を深めましょう (35)

講師：腎臓内科 高木 由利

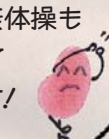


検査科からのワンポイントアドバイス

### “眼底検査について”

臨床検査技師：市川 麻衣子

健康体操も  
やって  
ます!



2019年 3月7日(木)

午後1:00～2:00

オリモトホール(織本病院4F)

予約不要・参加費無料